

令和5年7月20日

終業式の挨拶

校長 豊岡 耕一郎

皆さんおはようございます。

今日で1学期も終わり、いよいよ夏休みです。コロナ禍を乗り越え本格的に教育活動が行えるようになって、勉強に部活動に学校行事にと忙しい日々を送ったのではないのでしょうか。1学期の大きな学校行事であった体育祭も、体育祭執行部を中心とした皆さんの頑張りのお陰で無事終了することができました。特に閉会式の最後に皆で肩を組んで校歌を合唱できたことは、参観してくださった保護者の方々に大きな感動を与えたようです。次は文化祭です。今回は多くの中学生やOBの方々が来場することが予想されます。1年生などは全クラス劇という事で準備が大変でしょうが、皆で協力して工夫を凝らし、見に来てくださった方々に感動を与えられるような演目を期待します。

他にも、この1学期は部活動の公式戦もやっと解禁となり、多くの部活動の試合を見に行くことができました。普段中々見ることができない真剣な様子や気迫のこもったプレー、負けたくないという思いに触れることができたことと、この1年間でチームとして大きく成長した様子を感じ取ることができ、嬉しく思いました。それと同時に、雪高生の弱さを垣間見ることもありました。それは、劣勢に回った時、立て続けにミスや失点を繰り返してしまうということです。試合にミスはつきものなのですが、どうしても下を向いたり、負のイメージを先行させたりして、頭の切り替えやその場の雰囲気を変えることができずにやられてしまうことが多いような気がします。ミスをした時ほど、積極的にそして冷静に行動できるようにすることが大切なのですが、それが大会で発揮で

きるのは結局、今までの努力の積み重ねと仲間の存在です。逆にそれさえあれば、何も恐れるものはないはずです。

殆どの部活動は3年生が引退して、新チームとしてスタートしており、今はチームとしては不完全で課題が多いかもしれませんが、目標を高く持って日々の練習に励んでください。よく、楽しければいいという言葉を目にしますが、本当の意味で楽しむ為には、強さを求めることが必要であり、これはスポーツだけに限った話ではありません。この機を逃したら、もう二度と味わう事の出来ないこの貴重な経験を、仲間とともに苦しみ、そして乗り越えて喜びを分かち合っしてほしいと思います。私も新チームがこの1年でどこまで成長してくれるか楽しみにしております。運動部の話が中心となってしまいましたが、文化部にも同様のエールを送ります。

さて3年生にとって、この夏休みは君たちの人生を左右する大きな時期、正念場ですね。これまでの努力の成果や、部活で培ってきた根性・集中力を今こそ発揮するときです。成績が出ないからといって、簡単に目標を下げたり、安易に推薦に走ったり、楽な方向に流れないようにしてください。担任と相談しながら初志貫徹の気持ちをしっかりもって頑張ってください。

既にスイッチが入っている人も多く出てきているようで、生徒の頑張りが模試の結果にも出ていると、嬉しそうに担任の先生が話をしてくれました。私も毎朝の登校の様子や放課後の過ごし方などで、顔つきが凛々しくなってきた生徒が多くなったと感じています。

それでは、体調にはくれぐれも気を付けて、2学期始業式には、皆さん元気な笑顔を拝見できることを楽しみにしています。